

## 支援機関のサポート&連絡先一覧

	所管	内容
相談窓口	県機関、商工会議所、商工会等	約100か所に設置する相談窓口において、相談対応を実施しています。 詳細は、最寄りの県民事務所、各商工会議所・商工会または愛知県のウェブページ等でご確認ください。
	あいち・なごや強靱化共創センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災ワンストップ相談窓口 防災・減災に関して相談できる相談窓口を開設しています。</li> <li>●BCP個別相談窓口 企業のBCP(事業継続計画)策定を促進するため、専門家によるBCP個別相談窓口を設置しています。</li> <li>●BCPを支える施設強靱化個別相談窓口 企業等の耐震化対策等を促進するため、企業の工場等の耐震化対策を始め自然災害対策に関する相談に、専門家が個別に対応する窓口を設置しています。</li> </ul> 
融資	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経済環境適応資金パワーアップ資金【防災】 事業継続力強化計画または連携事業継続力強化計画を策定し、経済産業大臣の認定を受けた中小企業者を対象に計画の実施に必要な資金の融資を行っています。</li> </ul> 
専門家派遣	あいち産業振興機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経営・技術専門家派遣 事業継続力強化およびBCPの策定・更新等の支援を行う専門家を派遣しています。</li> </ul> 
	商工会議所、商工会	事業継続力強化計画およびBCP作成を支援する専門家を派遣しています。 詳細は、最寄りの各商工会議所・商工会のウェブページ等でご確認ください。
	(独)中小企業基盤整備機構(中部本部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハンズオン支援 BCP策定支援などの経営課題の解決に取り組む中小企業を対象に、豊富な経験と実績を持つ専門家を一定期間派遣し、アドバイスを実施しています。</li> <li>●連携事業継続力強化計画(ジギョケイ)策定支援 2社以上の中小企業で計画を作成する連携型ジギョケイ策定支援として、事前相談から計画作成、従業員の訓練・教育のための専門家派遣を行っています。</li> </ul>  
関連セミナー	あいち・なごや強靱化共創センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災・減災カレッジ(防災人材育成研修) 企業防災コースでは、企業のBCP策定・改善に取り組む企業の事例や、BCP策定の考え方・方法などを学ぶことができます。</li> </ul> 

### 愛知県のBCP策定支援策

#### 普及啓発セミナー開催

県内中小企業の皆様にBCP策定の必要性やメリット、あいちBCPモデルの策定方法を広く周知し、BCP策定が災害時だけでなく、平時の経営戦略の一環であることなどをお伝えしていきます。

#### BCP策定伴走支援

BCP策定講座を開催し、あいちBCPモデルを使用して実際にBCPを策定します。策定講座終了後もお困りの際は個別支援等でBCPが完成するまで伴走します。BCP策定後は、国の認定制度「事業継続力強化計画(通称ジギョケイ)」の認定取得もご支援します。

### 県内各市町村のBCP策定等支援施策

県内各市町村では、中小企業のBCP策定等に対して各種支援施策を実施しています。

詳細は [こちら](#) から →



### お問い合わせ先

愛知県経済産業局中小企業部中小企業金融課 経営革新・組合指導グループ

TEL: 052-954-6334

E-mail: kinyu@pref.aichi.lg.jp

中小企業のための

# BCP策定ガイド

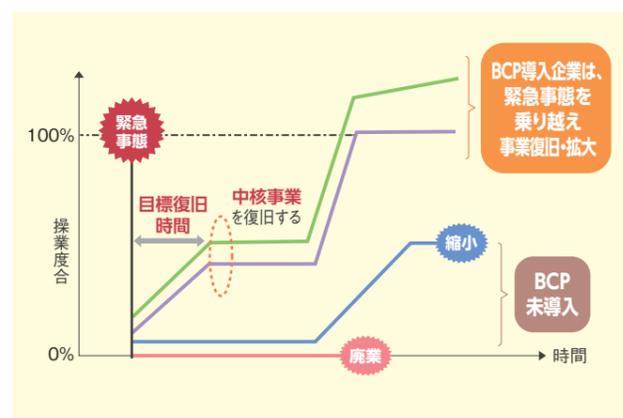


## BCPって必要なの？

# 中小企業のBCPの必要性

### Business Continuity Plan(事業継続計画)とは…

大地震等の自然災害、感染症のまん延、サイバー攻撃、大事故、サプライチェーンの途絶等の不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のことを事業継続計画(BCP)といいます。



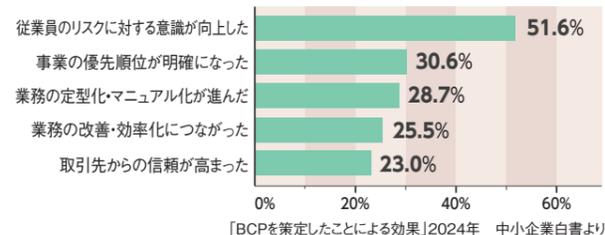
中小企業庁 中小企業BCP策定運用指針 より

### なぜ、BCPが必要か

大企業は豊富な資金や人材を有していますが、中小企業は資金や人材などの経営資源に十分な余裕があるとは限りません。そのため、災害や事故が発生した際の影響を受けやすく、迅速に対応できる体制を整えることが重要です。事業の再開が遅れると経営に致命的なダメージを受ける可能性があるため、中小企業こそBCPが必要です。

### BCPは経営改善にも有効

業務プロセスの改善:BCPを策定する過程で業務プロセスの見直しが行われ、業務の効率化や改善が図られます。  
従業員の意識向上:BCPの策定を通じて、従業員のリスク意識が高まり、緊急時の対応力の向上が図られます。



BCPは緊急時の対応計画だけでなく経営計画としても企業に重要なツールになります。

## 何から始めればいいのか？

# あいちBCPモデルを使ってBCPの策定に取り組みましょう！

何から始めたらよいかわからない、という方にもわかりやすいようにBCPひな形「あいちBCPモデル」を用意しました。チェック方式と穴埋め方式で簡単に取り組むことができ、記入例を参考に効率的にBCP策定に着手できます。より多くの方に活用いただけるように、7業種(卸売業・小売業・製造業・飲食店・建設業・運輸業・サービス業)に対応したひな形を用意しています。

あいちBCPモデル ひな型

記入例

あいちBCPモデルの確認はコチラから

## あいちBCPモデルで策定したBCPで、ジギョケイ認定(経済産業大臣)を効率的に取得できます！

### 事業継続力強化計画(通称ジギョケイ)とは

中小企業が自社の災害リスクなどを認識し、防災・減災の事前対策の計画を記載したもので、簡易版BCPと位置付けられています。

### ジギョケイの認定制度について

策定したジギョケイを国(経済産業大臣)が認定する制度です。認定を取得すると様々なメリットがあります。あいちBCPモデルを活用し策定したBCPはジギョケイの検討項目を網羅しているため、あいちBCPモデルを活用したBCP策定後にジギョケイ認定も取得することがおすすめです。

### ジギョケイ認定取得のメリット

ジギョケイを取得すると税制優遇や補助金申請の加点などのメリットがあります。

ジギョケイ認定を受けた企業への優遇策等 ※2025年5月時点

- ロゴマークの活用(HPや名刺でPR可能)
- 低利融資等の金融支援
- 防災・減災設備に対する税制措置
- 補助金の加点措置
- 中小企業庁HPでの認定企業の公表
- 保険料等の割引



事業継続力強化計画 認定ロゴマーク

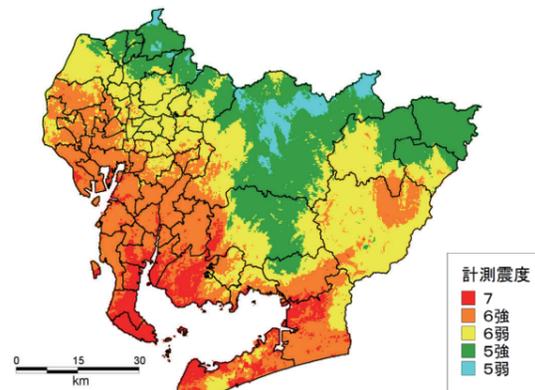
中小企業庁 事業継続力強化計画 Webサイトはコチラから



## 南海トラフ地震なんて起きるの？

# 今後想定される 南海トラフ地震

南海トラフ地震とは、南海トラフと呼ばれる海溝で、概ね100年~150年間隔で繰り返し発生してきたM8~M9クラスの大規模な地震です。前回発生した、1944年昭和東南海地震、1946年昭和南海地震からすでに80年超経過しており、南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率は80%程度と、いつ地震が起きてもおかしくない状況となっています。愛知県では震度6強以上の強い揺れや津波が予想されています。液状化現象による建物被害、被災からの復旧や業務継続のための人員不足、物流寸断によるサプライチェーンの混乱等、多方面で深刻な影響が考えられます。県や市町村が進める防災対策に加え、企業レベルでの備えも不可欠です。



出典:愛知県 東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果 最大想定モデルの地震

### 津波想定

津波到達時間は、津波高1mの到達時間で示す

	名古屋港区	半田市	南知多町	西尾市	田原市	豊橋市
最大津波高	5m	4m	10m	7m	22m	19m
津波到達時間	95分	71分	31分	43分	11分	8分

### 被害想定

死者	建物全壊・焼失	停電率	水道	携帯電話	帰宅困難者
約19,000人	約401,000棟	停電率 1日後:53% 4日後:1%	断水率 1日後:60% 1週間後:30%	携帯電話 停波基地局率 1日後:53%	約82万~ 約91万人

津波・被害想定出典:南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会

## 南海トラフ地震臨時情報とは…

南海トラフ地震臨時情報は、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合に気象庁から発表される特別な情報です。この情報は、南海トラフ地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていることを知らせるもので、愛知県民にとって重要な防災情報となります。臨時情報には「調査中」「巨大地震警戒」「巨大地震注意」「調査終了」の4つのキーワードがあり、それぞれの状況に応じた防災対応が求められます。2024年8月には、制度運用開始後初めて南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。

### ●2024年8月8日

- 16:42 日向灘を震源とするM7.0の地震が発生
  - 17:00 南海トラフ地震臨時情報(調査中)を発表
  - 19:15 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を発表
- 政府としての「特別な注意の呼びかけ」開始

### ●8月15日

- 17:00 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)に伴う政府としての「特別な注意の呼びかけ」終了

内閣府 南海トラフ地震臨時情報が発表されたら!はコチラから



### ●南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意):

想定震源域内のプレート境界において、M7.0以上M8.0未満の地震が発生したと評価された場合等に、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されます。→大規模な後発地震発生の可能性が高まっているため、今後の情報に注意して避難準備や備蓄品の確認を行うなど、日頃からの地震への備えの再確認が求められます。

### ●南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒):

想定震源域内のプレート境界において、M8.0以上の地震が発生したと評価された場合に、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表されます。→大規模な後発地震発生の可能性が切迫している可能性があるため、上記の備えの再確認に加え、津波の危険がある地域では事前避難が推奨されます。

## 時間差で起きる大規模地震に注意

M7.0以上の地震発生後には、平常時と比べM8.0クラス以上の地震の発生可能性が高まります。直近の南海トラフ地震では、時間差で大規模地震が発生しており、南海トラフ地震臨時情報が発表された場合は、政府や自治体の防災対応の呼びかけに応じた防災対応が必要です。

### ●M7.0以上の地震後に巨大地震が発生した例



### ●M8.0以上の地震後に巨大地震が発生した例

